

ひな祭り会

ひな祭りは女の子の成長を願う行事で、桃の花が咲くころに行われ、「桃の節句」とも呼ばれています。ひな人形は子どもたちの身代わりになって、病気や事故から守ってくれるとも言われています。ひな祭りは平安時代から続く伝統行事です。大切に受け継いでいきたいですね。

喜楽会主催草取り

毎年卒園式前に、喜楽会主催で有志の皆さんが駐車場や園庭の草刈りをして下さっています。日程は後日きつすノートにて配信します。ご都合の付く方をご参加くださいますよう、宜しくお願いします。

卒園式 13日(土)

午前9時より

白組さんの成長と、新しい出発に心を込めてお祝したいと思えます。いつもと少し違う雰囲気の中で、一人ひとりの思い出になる式になれば何よりです。

アンケートの結果より

園庭や駐車場の桃や梅の花が咲き始め、暖かい日が続きます、もうすでに春の様です。子どもたちはお天気のいい日には園庭に出てしっかり身体を動かして遊んでいます。昨年度、市民体育館からいただいた竹ぼっくりが今ブームになっており、竹ぼっくりで遊ぶ子がたくさんいます。それに乗ってグラウンドを何周も歩いている年中さん、年少さんも何度もチャレンジして楽しそうです。それを見た2歳児クラスの子も挑戦しているのです。竹の高さもあり少し難しそうなので、この度、職員とそのご主人が低い竹ぼっくりを竹を切って作っていただきました。電動のこぎりで竹が切られる様子、ドリルで穴をあける様子を最初から最後まで真剣に見ている子どもいました。本物を見ることは子どもにとって興味津々です。将来そういう職業に就く子ども出るかもしれませんね。見て、まねっこしてやってみようとする2歳児さん。面白がって遊んでいる時は、転んでも泣かずに何度も挑戦し、集中して遊びます。「できたね。すごいすごい。」と褒めると自信たっぷりの姿をみせてくれるのです。縄跳びにも挑戦している年少さんもいます。毎日のように縄跳びに取り組み、前とびがリズムよく飛べるようになり、「せんせい、みててよ。」と目を輝かせ、嬉しそうにやって見せてくれました。見てくれる人がいて、褒めってもらうことで、子どもたちはますます頑張ろうという意欲につながっているようです。

さて、1月に行いました保護者アンケートについてお答えしたいと思います。今回は74%の提出率で、皆さんのご協力に感謝しております。ほとんどの方は園の行事や日頃の保育に満足され、先生たちがいつも笑顔で対応して下さること、今年度はコロナ禍の中、感染対策をしながら行事を行ってくれたことに感謝の気持ちがたくさん書かれておりました。気になるご意見が何点かありましたので回答させていただきます。

・<子ども同士のけんかやケガについて、やられた時だけでなく、やった時にも教えてほしい。>

生活やあそびの中で必ずけんかをします。思いもよらないところで怪我をすることもあります。怪我をしたお子さんの保護者には、どうして怪我をしてしまったのかお伝えしなくてははいけませんのでお話しさせてもらっています。その怪我がけんかや子ども同士のトラブルの場合には、その時、お互いの話を聞き、話をして解決してからお返ししています。園で起こったことは園での責任ですので、全てお伝えすることはしません。子どもはけんかをしたり、怪我をしたりしながら様々なことを学び大きくなっていくのです。

・<15時15分に迎えに行った時、まだ昼寝をして、先生たちが休憩していた。>

園内で会議をし、それが長引いてしまった時、お昼寝が長くなってしまったのでしょ。職員の休憩も取れない日も多いので、ご寛容のほどよろしくお願い致します。

・<迎えに行ったら靴を履き替えてドアの前でたくさんの子が待っていて、通りにくいのですぐに部屋に入ってほしい>

ある程度人数が揃って、まとまって部屋に入るようにしていますが、迎えに来られた保護者の方には通れなくて迷惑をかけていた様ですね。少し待っていただくか、お急ぎの方は玄関の入口より入っていただければと思います。

・<乳児クラスの個人懇談はしないのでしょうか。> 今まではしてはいませんでしたが、個々の対応が必要な乳児クラスでも、必要であれば時間を作りますので声をかけてください。

・<車イスマークの所に関係ない人が止めています。> 乳幼児の施設です。近くに止めたい気持ちもわかりませんが、本当に使いたい人が使えないときに困ります。皆さんルールを守ってください。

・<発熱後24時間登園できないのは困ります。>

保護者の方のご事情もわかるのですが、1日様子を見てもらわないと、すぐに熱がぶり返すお子さんもおられます。コロナはいない前提で保育をしておりますので、このルールは守っていただければと思います。

・<小学生以上を園内に入れなくてほしい。ウイルスをもらう恐れあり。>

ご家族の方は園に入ってください。消毒やマスク着用も必ずしていただいて、感染予防対策はしてもらっていますのでご安心ください。

・<幼児にも味噌汁を出してほしい。食育をしてください>

乳児クラスは嚥下がうまくできなかつたり、食べることがまだ上手にできないお子さんがおられます。味噌汁をつけることにより、ご飯が食べやすくなるため、毎日味噌汁がついています。幼児クラスのお子さんは噛む力もつき、上手に食べれるようになっております。幼児クラスの味噌汁の提供は、管理栄養士が計画的に出しております。姉妹園全体で献立を考えておりますので、ご理解のほどお願いします。食育は当園では様々な活動をしております。ドキュメンテーションやきつすノートでも配信しておりますが、まだまだ皆さんに浸透していないので、伝え方の工夫がさらに必要だと感じているところです。

たくさんのご意見ありがとうございました。皆さんの声を改善点とし、今後もより良い園作りをしていきたいと思えます。

今年度、保護者の皆様にはコロナ感染拡大予防のご協力をしていただき、ありがとうございました。行事も形を変え、無事に終えられたことに感謝しております。3月は子どもたちにとっては、進学、進級が目前に迫り、わくわく楽しみにしていることでしょう。でも中には、ちょっぴり不安なお子さんもいると思われま。その時々気持ちをしっかり受け止め、3月を過ごしていきたいと思えます。

くまの・みらい保育園 園長